

# 情報公開用文書

## 「1-2レジメンの前治療後の再発または難治性の多発性骨髄腫の経過に関するアジア骨髄腫ネットワーク研究」について

- 1, 研究（調査）の目的と概略  
多発性骨髄腫の患者様の診療に関するエビデンスを蓄積し、治療成績を明らかにすることを目的とします。
- 2, 研究（調査）の方法  
多発性骨髄腫の診断の元、診療を施行された患者様に関して、年齢、性別、検査結果、臨床経過に関する情報を収集します。氏名や住所は収集いたしません。当院で匿名化された後、シンガポール国立大学がん研究所の事務局（チュン教授）へ情報提供されます。
- 3, 研究（調査）の参加施設  
徳島県立中央病院を含むアジアにおける骨髄腫治療の専門病院（Asian Myeloma Network 参加施設）
- 4, 調査期間  
調査期間 承認日から 2025年3月31日まで
- 5, 調査の対象となる患者様  
本研究の対象となるのは、2020年6月1日～2022年2月1日の間に、当院にて多発性骨髄腫の診療をうけた患者様です。
- 6, この研究への協力は任意です  
本研究は、患者様の診療記録から得られた情報のみを使用する「観察研究」と呼ばれるもので、患者様に新たな診療や検査を強いるものではありません。調査結果は、個人が特定できないように匿名化して管理し、個人情報を保護します。  
データのご使用をお断りになる場合は、直ちに情報の利用を停止いたしますので、ご遠慮なくお申し出ください。何も診療に不利益は生じません。
- 7, お問い合わせ先  
事務局：シンガポール国立大学がん研究所  
研究責任者：Prof. Chng Wee Joo  
当院研究責任者：徳島県立中央病院血液内科 医療局長 尾崎修治  
TEL: 088-631-7151, FAX: 088-631-8354